

WITHコロナ・POSTコロナ社会 における施策展開について

令和3年8月18日（水）

京都府総合計画・地域創生戦略推進会議



京 都 府

WITHコロナ・POSTコロナ社会 を見据えた総合計画の点検

総合計画の点検結果について

京都府WITHコロナ・POSTコロナ戦略においてコロナの影響を点検 

京都府総合計画

令和元（2019）年10月

将来構想

基本計画

地域振興計画

概ね20年後の
京都府の将来像

5つの「きょうとチャレンジ」 + 「エリア構想」
～令和6（2024）年3月まで



WITHコロナ・POSTコロナ戦略

令和3（2021）年6月

3つの基本的考え方に基づき下記6分野等の現状・施策展開方向をとりまとめ

①安心・安全、②産業振興、③子育て、④文化振興、⑤府民躍動、⑥地域づくり

⇒ WITHコロナ・POSTコロナ社会を見据え、施策全体のあり方について検討

京都府WITHコロナ・POSTコロナ戦略のとりまとめについて

■位置づけ

京都府総合計画（令和元年10月策定）について、コロナ禍による影響を点検しWITHコロナ・POSTコロナ社会を見据えた戦略の検討を開始。200名を超える有識者から意見を聴取し、コロナ禍を踏まえた総合計画推進のための取組方針としてとりまとめ。

■基本的な考え方・主な施策展開の方向性

① 歴史・文化に裏付けられた「本物」の京都の魅力や強みを高め、活かす

- 歴史、文化、伝統など京都の各地域の魅力を共有できる京都ファンコミュニティを構築【産業】
- 新たな市場開拓を推進する主体となる「シルクテキスタイル・グローバル推進コンソーシアム」を設置【産業】
- 文化庁移転や大阪・関西万博をターゲットとした日本文化の伝統・魅力の発信【文化】
- 地域課題の解決や地域産業に貢献する人材の育成など、大学生16万人の「学生力」を活用【府民躍動】

② 地域や社会とのつながりや人々との絆を大切にし、共感し合える社会を目指す

- 生涯現役クリエイティブセンターを活用し、企業在職中からセカンドキャリア形成のための交流等を支援【府民躍動】
- 官民連携のプラットフォームを活用した、災害時の災害情報の発信・広域避難体制の構築【安心安全】
- オール京都の「子育て環境日本一推進会議」を通じた、社会全体で子育てを見守り支え合う環境づくり【子育て】
- 多様化する移住ニーズや働き方に対応した、移住者が地域の担い手として活躍できる地域づくりを推進【地域】

③ デジタル化への対応など生活様式の変化を踏まえた社会ニーズに応える

- 雨量予測等をもとにデジタル技術を活用した災害発生前からの「予測に基づく先行的な防災」の取組の加速化【安心安全】
- スマートファクトリーやWEBマーケティングなど、開発から販路開拓に至るまでのDXを推進【産業】
- 「リアル」と「バーチャル」の双方による日常的な文化体験の場を拡充【文化】

令和3年度実施中の 主要事業

1. 命・健康・生活・事業を守るコロナ対策

◆感染防止対策

- ▶ ワクチン接種体制の確保 2,881百万円
 - ・府内2箇所に大規模接種会場を設置し、1日最大2,400名の接種体制を確保
 - ・高齢者の早期接種に向け、医師・看護師等で構成する接種チームを市町村の接種会場に派遣
 - ・24時間体制の副反応等の専門相談窓口を設置

◆京都経済を支える対策

- ▶ 「観光・伝統・食関連」産業連携事業緊急支援費 500百万円
複数企業が連携し工夫を凝らした取組を補助金により支援（最大500万円）

◆生活・雇用の安心強化

- ▶ ひとり親家庭等見守り・生活支援事業費 295百万円
子ども食堂やこどもの居場所の強化、ひとり親家庭自立支援センターでの相談体制強化、食料品・生活必需品の緊急配布、償還免除付の住宅資金貸付制度創設など、子どもの見守り、就労、生活支援などを総合的に支援

【大規模接種会場の様子】



<サンガスタジアム by KYOCERA>



<けいはんなプラザ>

2. 府民の暮らし安心強化

◆生涯活躍人材の育成

- ▶ **生涯現役活躍人材育成支援プロジェクト事業費** 92百万円
京都経済センター内に「生涯現役クリエイティブセンター」を開設

「生涯現役クリエイティブセンターの機能」

- ◆ 相談・キャリア支援機能（受講者の自己理解の支援、適職アドバイス 等）
- ◆ 情報収集・発信機能（リカレント情報の一元化・発信、ニーズ把握 等）
- ◆ リカレント教育機能（意識改革研修、府内大学等と連携した分野別研修 等）



◆雇用の確保

- ▶ **非正規雇用女性就労促進事業費** 334百万円
相談体制の拡充やマッチング機会の拡大により、「働きたいのに働けない」女性の相談から就労までのサポートを実施
- ▶ **就職氷河期世代雇用支援総合対策事業費** 123百万円
国の就職氷河期世代支援プログラムとも連携し、就職氷河期世代の方が希望に応じた就業ができるよう、カウンセリング・研修・企業とのマッチング等を実施
【R2実績：就職内定者130人、うち正規内定者50人】

3. 子育て環境日本一に向けた取組強化



◆ 推進体制の構築

- ▶ **子育て環境日本一推進会議設置費 4百万円**
子育て世代等の孤立化を防ぎ、社会全体であたたかく見守り支え合うオール京都の推進体制を構築

部会を設置し、課題の深掘りや課題解決に繋がる新たな取組を検討

まちづくり部会

民間企業等と市町村の連携をさらに推進

風土づくり部会

サミットを開催し、行政、経済団体、保育団体等のトップによる「メッセージ」を発信

職場づくり部会

- ・ 男性育休の取得支援
- ・ テレワークや子連れ出勤・時間単位有給休暇の導入支援 等

子どもたちが健やかに育ち、夢や希望を叶えられるよう、地域や企業を含めた社会全体で「子育て環境日本一」を目指す

◆ 子育てしやすい地域・まちづくり

- ▶ **子育てにやさしいまちづくり事業費 150百万円**
 - ・ 「子どもの居場所」「子ども・親子の交流の場」などを拠点として、企業など様々な主体と連携する仕組みづくりなど、市町村による子育てにやさしいまちづくりの取組をハード・ソフトの両面から包括的に支援



子どもの居場所「キッズステーション」
(与謝野町：令和2年度モデル事業)

4. 文化首都・京都から伝える文化の力



京都が目指す姿

「政治・経済」と「文化」の双眼構造による経済・文化両面から日本創生を！

「政治・経済首都」

政治・経済の国際交流のハブ
新産業の創造による経済成長

二つの
交流ハブ

「文化首都」

文化の国際交流のハブ
文化芸術を起爆剤とした日本創生

「文化芸術立国」の実現

◆国内外への文化発信

▶文化芸術発信強化事業費 40百万円

令和4年度の文化庁移転に向けた国内外への発信を強化
・関西地域文化フェア開催等の機運醸成
・文化庁主催のイベントと連携し、府全域で障害者芸術を発信

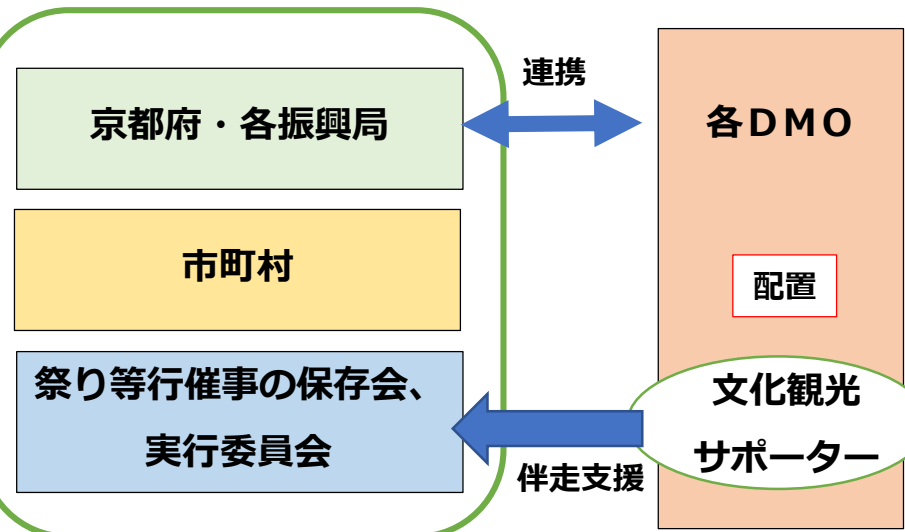
◆文化観光の振興

▶地域文化活性化推進事業費 15百万円

文化観光サポーターの配置により文化観光を推進

地域の伝統芸能や行催事を支える保存会を伴走支援

【官民一体のネットワーク組織
(地域文化活性化連絡協議会) イメージ】



5. 京都産業の強み再構築

◆ 商店街・小売業支援

- ▶ **新しい商店街づくり総合支援事業費**
110百万円
商店街の多機能化と多様な人材の集積により、地域コミュニティの中核となり、地域・個店と一体的に発展していくことを支援

◆ ものづくり産業支援

- ▶ **企業連携型ビジネス構築事業費**
220百万円
コロナ禍での市場や産業構造の変化に対応するため、企業の連携や新ビジネスの創出を支援

◆ 伝統産業支援

- ▶ **伝統産業産地再構築事業費**
25百万円
「シルクテキスタイル・グローバル推進コンソーシアム」を設置し、西陣織、京友禅、丹後ちりめんの3つの産地の連携によるマーケット開拓等を支援

◆ 観光関連産業支援

- ▶ **地域の魅力を活かした観光振興事業費**
60百万円
観光データの分析（SNSや位置情報等人流データ等）とこれらを活用できる人材の育成

◆ 食関連産業支援

- ▶ **京ものブランド力向上総合戦略事業費**
163百万円
京の食文化を体現する最高品質の「京都プレミアム中食」開発を支援



<商品開発想定例>

飲食店（料亭）が開発する
「料亭の味再現ミールキット」

6. 防災対策等の強化

◆ 防災・減災、国土強靱化

▶ 安心安全基盤、道路整備による強靱化 85,114百万円

国の「防災・減災、国土強靱化のための5か年加速化対策」等を活用し、頻発・激甚化する豪雨や南海トラフ地震等に備えた先進的な防災・減災の基盤づくりを推進

総合的な治水対策

■ 河川改修



桂川（亀岡市）

■ 雨水貯留施設の整備



いろは呑龍トンネル（向日市他）

道路の防災対策

■ 橋りょう耐震対策



国道307号山城大橋（城陽市・京田辺市）

■ 冠水対策



国道175号、由良川（福知山市）

◆ 地球温暖化対策

▶ 気候変動適応推進事業費 12百万円

「京都気候変動適応センター」を設置し、気候変動に起因する環境への影響や変化等の情報収集・分析・発信を実施

7月に設置済

<地域気候変動適応センターの担う機能>

- ①気候変動に関する情報の集約・分析及び情報発信
- ②大学や研究機関と連携した最新の知見の集約
- ③適応策の自立的な普及に向けた適応ビジネス創出支援等

7. 魅力ある地域づくり・基盤整備

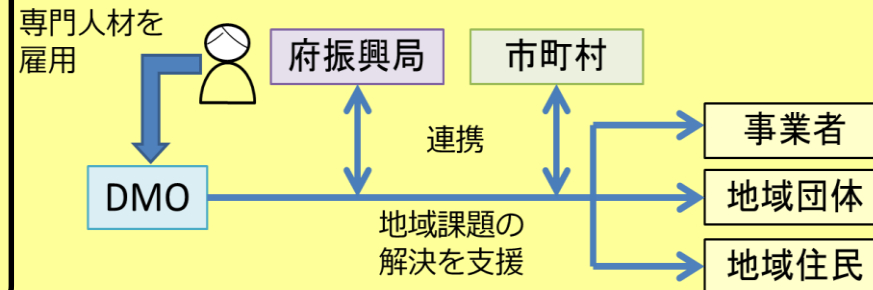
◆ 専門人材の配置

▶ 「海の京都」「森の京都」「お茶の京都」DMO推進事業費 202百万円

DMOに地域の実情に応じた専門人材を新たに派遣

- ▶ 「観光地域づくり法人」から「まちづくり支援法人」へ進化
- ▶ 専門人材の配置により、今後、DMOが地域の課題解決も支援

【事業スキーム】



◆ 京都舞鶴港の整備

▶ 舞鶴国際ふ頭Ⅱ期整備事業費 900百万円

- ・ 舞鶴国際ふ頭のⅡ期整備に着手（土地造成に向けた護岸整備）
- ・ 関西圏唯一の日本海側ゲートウェイとして、物流・人流双方の機能をさらに強化

取扱量の増加等に対応するため、

- ・ 岸壁延伸、ふ頭用地拡張（H29.10）
- ・ クレーン増設（H30.3）
- ・ CFS供用（R元.7）
- ・ **第2バース・Ⅱ期整備着手（R3.4~）**



【舞鶴国際ふ頭】コンテナ貨物船（右）とバルク貨物船（左）による同時着岸、同時荷役



舞鶴国際ふ頭Ⅱ期整備